

一つひとつの仕事をまでいに
やすらぎ工房 飯館工場 (草野)

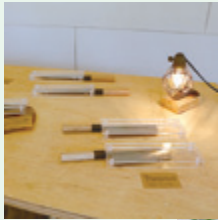
HOPES

ホープス セカンド
2nd

福島市の刃物店「刃物の館やすらぎ工房」の飯館工場が、9月14日、開所の日を迎えました。工場は、旧草野幼稚園を改修した建物で、刃物製造の全工程をまかなう作業場が整えられました。



やすらぎ工房の皆さん。右から二瓶代表、長男の貴大さんとその婚約者・高橋麻美さん、代表の妻・つや子さん、長女の菅藤奈央子さん。開所式の会場にて。



工場併設のギャラリー。展示の刃物を購入することもできます。営業時間は午前10時から午後5時。不定休なので、訪ねる際には電話でご確認を。
☎0244-42-0333 (飯館工場)

この日は工場に関係者を招いて、神事と火入れの式を行い、交流センター「ふれ愛館」で開所式を行いました (P.26に関連記事)。

「手づくりの刃物は、やる人によってできが違う。努力によって商品に大きな差が出るものなんです」と二瓶代表。「自らの力を養い、会社の力を養い、毎日を積み重ねて成長したい」と語ります。「仕事や生活をしていくと、次から次へと問題は生まれるもの。熱意を持ってやるかやらないかです」。

鍛冶職人として研鑽を積む貴大^{たかひろ}さんは工房の4代目。福島市立子山に鍛刀場を持つ藤安将平刀匠に師事して、刀鍛冶の資格取得も目指しています。「この場所で、一生がんばっていききたいです」。

今後は、体験教室なども開いていこうと考えているそう。飯館村に、まδειいなものづくりの槌音が響きます。

〈編集後記〉

●ラオスパラ選手団が来村。来年の東京五輪に向けて期待が高まってきました。※観戦チケットは取れていません。選手の方々と交流してみても、言葉が通じればベストですが、「伝えたい」という心があれば何とか伝わるものと実感。でもやっぱり、来年までには「ラオス語」ほんの少しでも喋られるようになってほしいです。(木幡)

●台風の影響で交通網が乱れる中、乗り物を取り継いで到着したラオスの皆さん。緊張しつつも笑顔を決やさず関係者の歓迎を受けました。そして約10日間の合宿。国を代表するパラアスリートとしてスポーツに向き合う姿、感謝を忘れない謙虚なふるまい、来日を心から楽しんでる様子に、尊敬と親しみを感じた日々でした。またあの笑顔に会えますように。(星)



飯館村は「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。